

国民健康保険上矢作病院経営強化プラン(概要版)

1. 策定の趣旨・計画期間

【策定の趣旨】

令和4年3月に総務省から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、地域の方が安心して医療を受けられるような持続可能な病院として、国民健康保険上矢作病院経営強化プラン(以下、経営強化プラン)を策定します。

【計画期間】 令和6年度から令和9年度までの4年間

2. 病院の概要

【診療科】 内科、呼吸器内科、消化器内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、肛門外科、

整形外科、小児科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

【許可病床】 56床(一般病床 19床 地域包括ケア病床 37床)

3. 目指す姿

- ・ 優しい親切な医療を心がける
- ・ 日進月歩の医学・医療を絶えず学び、より高度な医療水準を目指す
- ・ 救急医療をはじめ保健、治療、リハビリ、福祉に至るまで包括的な医療を展開する
- ・ 地域の特性を最大限に生かした心あたたまる医療に心がける

4. 経営強化プランにおける取組

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

◆地域医療構想を踏まえた当院の果たす役割・機能

当院は東濃二次医療圏の東部に位置し、山間地に散在する無医地区を中心に地域医療を担っています。地域密着の回復期(地域包括ケア病床)及び在宅医療、外来機能としての役割を担っています。今後の医療需要の変化に合わせて、病床数及び病床機能の転換を図り、整備することが必要だと考えています。

	令和5年(2023年) (プラン策定)	令和7年(2025年) (地域医療構想)	令和9年(2027年) (目標)
急性期	19床	0床	0床
回復期	37床	50床	50床
計	56床	50床	50床

◆地域包括ケアシステムの構築に向けた役割・機能

高齢となっても住み慣れた地域でできるだけ長く過ごしたいという皆様の願いに、できるだけ寄り添えるような病院を目指して、訪問看護ステーションと共同して在宅医療を展開し、地域の開業医とも連携を図り、回復期機能を発揮して、地域での生活復帰を支えるという役割を担っていきます。

◆機能分化・連携強化

当院では高度医療や手術症例等対応の難しい急性期医療については、医療圏の基幹病院である県立多治見病院や市内の急性期の中心的な役割を果たす市立恵那病院、隣接市の中津川市民病院と連携し患者を紹介しており、当院の診療圏における初期救急医療や急性期後の回復期機能、在宅医療等を担っています。

◆一般会計の負担の考え方

公営企業繰り出し基準に関する総務省が通知する繰り出し基準に基づき、基準内繰入を原則とします。

◆住民理解のための取組み

市広報紙、ホームページ等で経営状況等情報発信を行い、理解促進を図ります。また、地域自治体等への説明を必要に応じて継続します。

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

岐阜県、名古屋市立大学病院、県立多治見病院、愛知県がんセンターからの派遣協力のもと医師確保を図るとともに、研修協力施設として研修医の受け入れを行います。看護業務の効率化を図り、看護体制の確保に努めます。

(3) 経営形態の見直し

当院は恵那市直営による地方公営企業法の一部適用により運営しています。「恵那市地域医療ビジョン策定委員会」の方向性において、医療機関としての規模等を考慮しつつ、不採算地区の医療や地域医療の維持を確保できるよう、経営強化に向けた経営形態の検討を進めます。

(4) 新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組み

当院は、病棟の構造上、積極的に感染症の入院患者を受け入れるのが困難な状況となっています。今後、新興感染症の感染拡大時には、他院と連携しながら地域の軽症者及び回復期の患者の受け入れを行い、感染症入院患者の受入病院の後方支援の役割を担い、地域の一般診療を維持します。

国民健康保険上矢作病院経営強化プラン(概要版)

(5)施設、整備の最適化

- 当院は、建設後45年が経過し建物設備が老朽化しています。人口減少等地域を取り巻く医療環境が大きく変化する中、令和5年度末に策定された恵那市地域医療ビジョンの方向性に沿って、建物の建て替えを医療機関としての規模を含めて検討します。
- 今ある医療環境を維持するため 維持管理費の抑制に資する方法を検討しながら療養環境の維持等を行っていきます。
- 医療ICTの活用は、患者サービスの向上と業務の効率化を図るうえで欠かせないものとなっています。在宅医療における関係機関とICTを活用したり、デジタルツールによる連携の強化を行い、業務の効率化を図ります。

(6)経営の効率化等

地域で果たす役割、最適化等を考慮しながら、病院規模にあった収支の改善等に取り組み、健全な経営体質づくりを行っていきます。

1)医療機能・医療品質及び連携強化に係る数値目標

① 医療機能・医療品質に係るもの

	単位	令和4年度 (実績)	令和5年度 (見込)	令和9年度 (計画)
時間外救急患者数	人	759	720	760
訪問診療	回	319	320	320
訪問看護利用者	件	4,827	4,800	4,900
内 訪問リハビリ	件	1,822	1,800	1,900
在宅復帰率(地域包括)	%	81.9	80.0	80.0

② 連携強化に係るもの

	単位	令和4年度 (実績)	令和5年度 (見込)	令和9年度 (計画)
外部人材受入人数	人	46	47	45
外部人材受入れ日数	日	226	226	226

2)経営指標のかかる数値目標

① 収支改善に係るもの

区分	単位	令和4年度 (実績)	令和5年度 (見込)	令和9年度 (計画)
経常収支比率	%	94.9	93.6	100.2
修正医業収支比率	%	76.1	72.1	75.2

②経営の安定性・収入に係るもの

区分	単位	令和4年度 (実績)	令和5年度 (見込)	令和9年度 (計画)
常勤医師数	人	3	3	3
1日当たりの入院患者	人	26.1	25.0	30.0
1日当たりの外来患者	人	66.3	65	65
入院単価	円/日	32,870	32,500	32,500
外来単価	円/日	14,592	15,000	15,000

③経費削減に係るもの

区分	単位	令和4年度 (実績)	令和5年度 (見込)	令和9年度 (計画)
給与比率	%	73.7	71.3	75.2
材料比率	%	18.0	24.9	19.5
経費比率	%	18.4	21.1	21.2

(7)経営強化プランの点検・評価・公表

経営強化プランについては、毎年度の事業実績により点検・評価を行い、進捗状況等の情報をホームページで公表する等、積極的な情報提供に努めます。また、恵那市地域医療ビジョンの方向性に沿った実施計画等において、計画に変動等が生じた場合は、必要に応じて計画内容を見直します